

本州最南端潮岬散歩マップ

鯨山見
潮岬神社
オゴクタ浜
潮岬灯台
南紀熊野ジオパークセンター
潮岬観光タワー
望楼の芝
潮風の休憩所
赤島
トバナ
最南端
沖の黒島
オオクラ

MISAKI LODGE
みさきロッジ



日本遺産

なんだこれ？散歩コース

このコース案内には、おすすめポイントの一部を撮影した画像が掲載されています。ご覧いただいた通り普通の観光マップのようにきれいな画像ではありません。このマップでは、散歩して頂く方の「なんだこれ？」をコースを回りながら探して、見つけて、触れて、考えてなどなどできるだけ五感で感じていただきたいと考え作成しました。

できれば掲載されている画像の撮影ポイントを見つけてみてください。

赤コースは、ポイントに向かって進んでいただければポイントを発見できるかもしれません。

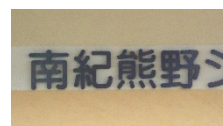
青コースは、少しひねりが入っていますが赤コースを体験していればなんとかなるかも？

オレンジコースは、赤コースの途中から最南端の最南端である磯トバナへのルートとなっています。

緑コースは、潮岬神社の神域で貝拾いの聖地でもあるオゴクダ浜へ向かうコースになっています。

赤コース（歴史、文化、景観）

当館の東全面に広がる望楼の芝を回るコースです。



1：南紀熊野ジオパークセンターへ（入館無料）

当館を東に進んでください。

ここでは、南紀熊野ジオパークの様々な展示物や映像だけでなく常駐されている南紀熊野ジオパークガイドの方々に館内を案内していただくことができます。青・オレンジ・緑コースも楽しめる方は、ここでしっかり予習して向かってください。



2：潮岬観光タワー（入場料 300 円）

南紀熊野ジオパークセンター横に立つ町内一高いタワーです。ぜひタワー上から本州最南端をご覧ください。

3：望楼の芝

潮岬観光タワーを出て横断歩道を渡ると約 1 0 万㎡の大芝生、望楼の芝生に入ります。ここは、明治時代、海軍の望楼（物見やぐら）があったことから名付けられました。毎年 1 月の最終土曜日に「本州最南端の火祭り」が行われています。



4：下村海南像と歌碑

望楼の芝生を南に進むと赤い屋根の休憩所があり入り口左側にこの像と歌碑があります。

和歌山市出身（1875 - 1957）法学博士で大臣にもなり新聞界でも活躍した人物。

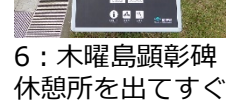
晩年には国立公園の委員としても尽力されたそうです。生前その雄大な風光を愛したこの地で像が建てられました。

歌碑には「春寒み野飼の牛も見えなくに潮の岬は雨けむらへり」と刻まれています。昭和 40 年頃までこの芝で牛が飼われていたそうです。



5：潮風の休憩所

ここでは、明治から昭和にかけてオーストラリアの木曜島への移民の軌跡を紹介しています。



6：木曜島顕彰碑

休憩所を出てすぐ左側にあります。



7：本州最南端の碑

木曜島顕彰碑をご覧になって振り返っていただくとあります。



8：本州最南端モニュメント

本州最南端を展望していただいた右手にあります。ここに南紀串本観光協会様が立てたスマホ台がありますのでこれを使ってスマートフォンをお持ちの方は記念に撮影してみてください。

さい。

ここからしばらく西に向かいます。



ちょっと小ネタ

芝と柵との間の小道は、花崗岩です。図では赤い帯（文象花崗岩、その他緑の部分は変質輝緑岩）で示されていて芝と磯とは違う岩の帯を利用しています。



オレンジコース

本州最南端の磯トバナへ行かれるときは、必ず救命胴衣、ヘルメットをご用意ください。



9：旭の森

四季を通じて様々な植物や蝶など観察できます。

神功皇后（176？ - 269？）が東方海上に

上る朝日をご覧になったとの伝承から旭の森と呼ばれるようになったのかもしれない。



10：本州最南端の最南端？

本州最南端モニュメントより少しだけ南にある展望場所です。地元民もほとんど訪れない最南端ポイントです。



このポイントを通して当館に戻っていただくと赤コース終了です。

青コース（自然観察、歴史、景観）



1：夕陽鑑賞ポイント

当館の部屋からご覧いただける夕陽百選に選ばれたポイントです。先端にある東屋でお弁当ランチなどおすすめですよ。（お弁当承ります。）

ポイントを出てすぐに磯に降りていくつづら折りの小道を降りてください。

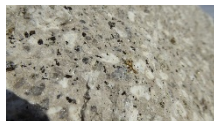


2：海岸段丘

高低差約 30m の小道を降りながら段丘面を観察したり植生をお楽しみください。



南紀熊野ジオパークセンター、潮風の休憩所に詳しい説明があります。

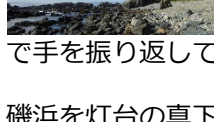


3：キラキラ石探し

磯に降りたらこぶしほどの石がゴロゴロしている磯浜にです。様々な岩石がありその中には、キラキラ光るものもあるので灯台方面に向かいながらぜひ探してみてください。

4：灯台を下から見てみよう

下から見上げる灯台は、観光パンフレットにもほとんど掲載されていない景観です。



灯台に昇っている人に手を振ってみましょう。かなりの確率で手を振り返してくれます。

磯浜を灯台の真下付近まで進むと火成岩帯にです。ここでは、マグマが冷え固まる際に噴出したミネラルによって色がついた岩体を見ることができます。

5：黄色の岩

硫黄の成分が付着した岩

6：赤色の岩

鉄の成分が付着して酸化した岩

7：緑色の岩

学問的には、変質輝緑岩と言われるそうです。



8：グーグルマップ地層の帯

火成岩帯を右に回り込むと地層の帯を見ることができます。

スマートフォンをお持ちの方でグーグルマップアプリで現在地表示するとこの帯を見ることができます。

谷間に小道がありそこを登っていただくと潮岬神社に出ます。



9：潮岬神社

祭神スクナヒコナノミコト海の神として広く漁業関係者からの信仰を集めています。

中世から戦前まで近隣 18ヶ浦のカツオ漁の船頭がここに集まり安全豊漁祈願と協議を行っていました。

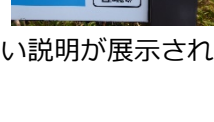
10：鯨山見

日本遺産「鯨と共に生きる」説明板があります。



11：潮岬灯台

入場して頂くと官舎跡に詳しい説明が展示されていますのでぜひご覧ください。



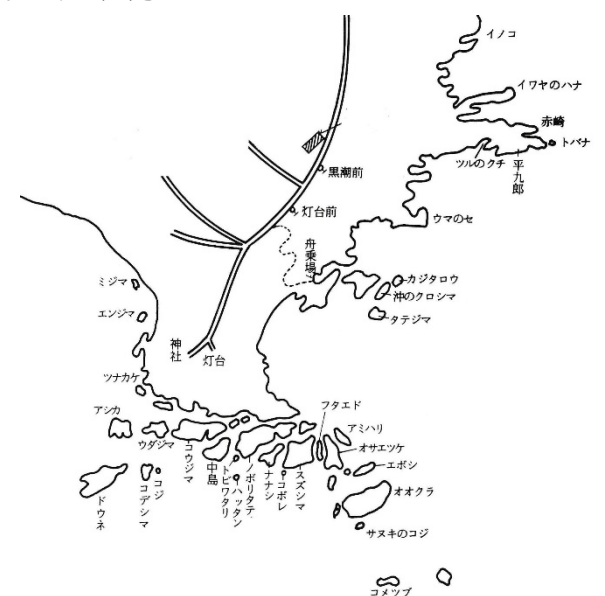
緑コース



潮岬灯台を出てすぐ左に回り込むとオゴクダ浜へ降りていく脇道があります。足元



に気を付けながらくねくね下っていくと浜にです。この浜は、たくさんの貝殻が流れ着く珍しい場所で貝マニアの方々にとっては新種発見の可能性が高い所だそうです。海に向かって左奥に進んでいくと「静の窟屋」と言われる海蝕洞門があり潮岬神社の神域とされています。くれぐれも洞門内に入ったりしないようにしてください。



〒649-3502

和歌山県東牟婁郡串本町潮岬 2 8 6 4

電話番号 0735-62-1474

E-mail: nisiyu12121212@gmail.com